

上州太田で歩き初め

かなやま 七福神めぐりと 金山城跡探訪

迎春ハイキングは



明けましておめでとうございます。今年最初のそぞろ歩記は、群馬県太田市へ。母と一緒に「上州太田七福神めぐり」と、金山城跡へのハイキングを楽しんできました。ここは「史跡金山城跡」。1469年築城の難攻不落といわれた山城で、戦国期の関東七名城のひとつになっています。(MAPの①)

今回の登場人物



業平道子
あずまの母親。小学生向けの英会話教室を経営する。趣味は園芸。



業平あずま
業平家の長女。母親が経営する英会話教室を手伝う。趣味は旅行。



北千住から特急「りょうもう」で約1時間10分で「太田駅」に到着。駅構内には「太田市観光案内所」があり、マップなど旅の資料がそろいます。また「太田市駅なか文化館」には、ギャラリーも設置。

太田 (おた)

太田駅前立つのは新田義貞公の銅像です。南北朝時代を駆け抜けた名将・新田義貞ゆかりの地として、新田氏にまつわる史跡が数多く残る太田市。戦国時代の関東七名城のひとつとされる金山城跡もそのひとつで、いまなお多くの遺構が残され、往時の様子をリアルに伝えています。
この金山城跡を訪ね、併せて「上州太田七福神めぐり」を紹介。寒さに負けない冬のハイキングには、福の神たちがついています。



長い石段を登ってたどり着いたのは「高山神社」。幕末の尊王運動に大きな影響を与えた思想家高山彦九郎(1747~93)を祀っているそうです。一帯は「高山公園」になっていて、散歩するにも気持ち良さそう。(MAPの㉟)



今回のそぞろ歩記では、「上州太田七福神めぐり」のうち、四つのお寺をめぐりました。ここは「長念寺」(恵比寿神)。江戸時代に例幣使が到着の際に届出を出したお寺で、明治時代は尋常中学校だったそうですよ。(MAPの㊸)



呑龍様という愛称で親しまれている「大光院」(弁財天)です。徳川家康が始祖と仰ぐ新田義重を祀うため、1613年に建立されました。本堂の前には、開山した呑龍上人お手植えの「臥龍松」。見事な枝ぶりです。(MAPの㊹)



高山神社のすぐそばにあるのが「受樂寺」(大黒天)。1384年の創建以来、移転や焼失・再建を繰り返してきたそうです。この山門は1804年に建立されたもので、歴史を感じさせてくれます。(MAPの㊺)

初代・新田義重は 徳川家康の先祖?!

上州太田七福神めぐりは、金山城跡を中心に南北のエリアに点在するお寺を回るハイキングコース。太田駅北口を出発し、まず日光例幣使街道の宿場町だった面影を残す街を歩いていきます。ほどなく長念寺(恵比寿神)に到着。ここは江戸時代例幣使が太田宿に着いた際に届出を出した寺で、いまもクルマが行き交う日光例幣使街道沿いに美しい本堂を見ることが出来ます。

大通りから住宅地に入っていくと、小さな丘の中央に回り込むと、受樂寺(大黒天)。二百年前に建立された山門が往時を偲ばせてくれます。

受樂寺の向かいの丘を上れば、高山神社。ここに祀られているのは、『太平記』に影響を受けて江戸中期に活躍した太田出身の勤王家・高山彦九郎です。

七福神めぐり前半のハイライトは、金山の南麓に広がる大光院(弁財天)。開山した呑龍上人が貧しい子どもたちを救済したことから、地元では「子育て呑龍様」と親しまれています。

大光院は、徳川家康が自分の始祖と仰ぐ新田氏初代の義重の菩提寺として建立したもので、そのため太田は徳川幕府から手厚く保護され、発展していきました。風格ある本堂をはじめ、広大な境内には呑龍上人の墓、開山堂、鐘楼などが立ち並んでいます。

さて、ここから金山へは山道となります。その途中には金龍寺(毘沙門天)。新田義貞の菩提寺といわれ、義貞の供養塔や歴代金山城主の五輪塔があり、本堂には義貞の木像が安置されています。



金山城跡へ行く前に、「太田市立金山城跡ガイダンス施設」へ。隅研吾氏設計のデザインが印象的です。大スクリーン「戦国シアター」で金山城の歴史的背景が学べるほか、バーチャル体験装置「城ナビ」などが楽しめます。(MAPの⑥)



金山城主・横瀬氏(後の由良氏)の菩提寺、「金龍寺」(毘沙門天)です。歴代の金山城主の五輪塔や、新田義貞の供養塔、さらに本堂には新田義貞の木像が安置されています。紅葉スポットとしても有名だそうです。(MAPの⑦)



金山城本丸跡に鎮座する「新田神社」です。1875年、新田義貞を祀るために建立されました。太田駅前、義貞の銅像を見て歩き始め、今日は新田義貞に始まり、終わった旅でした。今度は残りの七福神三寺を訪れたいものです。(MAPの⑧)



「史跡金山城跡」にある「日ノ池」。鞍馬や雨乞いの儀式が行われたそうです。空気の澄んだ冬の金山城跡からの眺めは最高で、天気にも恵まれた私たちは、東京スカイツリー®も富士山も眺めることができました。(MAPの⑨)

戦国の世をいまに伝える 金山城跡の遺構

金龍寺を後にさらに山道を上っていくと、いよいよ金山城跡。おっと、その前に「太田市立史跡金山城跡ガイダンス施設」に立ち寄ります。

金山城の歴史を紹介する同施設は、金山城の石垣をイメージした個性的な外観。館内では金山城についてのデータベースやジオラマ、戦国時代の様子を再現した映像などを楽しむことができます。さあ、いよいよホンモノの金山城跡に入城。

新田一族の岩松家純が文明元(一四六九)年に築城した金山城は、山の地形を巧みに利用した大規模な山城。上杉や北条の軍勢にも揺らぐことがなかったという、石と土塁と水路の要塞です。綿密な発掘と復元作業が行われた城跡に入っていくと、曲輪や日ノ池・月ノ池、物見台、堀切、大手虎口などの遺構をつぶさに見ることが出来ます。天主曲輪(本丸)があった頂上には明治になって新田神社が建立。往時は敵の侵入を見張っていた物見台からは太田市内はもちろん、よく晴れていれば富士山や東京スカイツリー®まで見えます。

城跡探訪を終えて金山の北麓へ下っていくと、玉蔵寺(福寿)、永福寺(寿老人)と続き、七福神めぐりのゴールは曹源寺(布袋尊)。本堂の廊下がサザエの殻のように螺旋状になっている珍しい構造で、「さざえ堂」と呼ばれています。

七福神めぐりと金山城跡の2つのハイキングコースを併せて紹介しましたが、毎年1月の第2日曜日には太田市観光協会の主催で「新春上州太田七福神めぐり」(参加費500円)が開催され、正月の風物詩になっています。

太田データファイル

〈上州太田七福めぐり〉・・・太田駅北口→0.8km
 →長念寺(恵比寿神)→1.1km→受楽寺(大黒天)
 →0.8km→大光院(弁財天)→0.5km→金龍寺(毘沙門天)
 →1.8km→玉巖寺(福祿寿)→1.6km→永福寺(寿老人)
 →1.2km→曹源寺(布袋尊)→4.0km→太田駅北口 * 以上は、太田駅北口からのモデルコース ☎太田市観光協会 0276-47-1111 (代表)

〈太田市観光案内所〉・・・●交通=太田駅構内
 ●開館時間=10:00～17:00(土日祝は～15:00) ●休館日=月曜(休日の場合は営業、翌日休み) ☎0276-30-3160

〈太田市立史跡金山城跡ガイダンス施設+太田市金山地域交流センター〉・・・●交通=太田駅徒歩30分・タクシー5分 ●開館時間=9:00～17:00(入館は16:30まで) ●休館日=月曜(休日の場合は開館、翌日休館) 12/29～1/3 ●入館・観覧料=無料 ☎0276-25-1066

〈伊勢屋〉・・・●交通=太田駅北口徒歩3分 ●営業時間=9:00～17:00 ●定休日=水曜 ☎0276-22-2858



よく晴れた日には、金山城跡や西阿から東京スカイツリー®や六本木ヒルズ新宿のビル群、そして富士山も見えますよ!



360焼き スバル最中
 伊勢屋さんオリジナルの和菓子。「スバル最中」「360焼き」「THEスバル」とスバル尽くしです。

